

桜花片々

躍動編

その2

座談会

出席者
前校長 山中 順三
第2回生 戸嶋 正夫
第10回生 砂子田源六
第15回生 足沢 至
司会 編集 部

東北一の講堂 新校舎で意気軒昂

山中 新校舎の落成式は十三年十月三十日、わたしはモーニングを着て下足番でした。

戸嶋 わたしは会場係、祝典準備は四月頃からかかった。委員を決めて事務分担、記念品係にもなり絵葉書なども作った。

山中 設計は葛西万司氏で、長沢組が施工、工費十四万円でした。起工は十二年八月、竣工十三年一月、所要日数一七四日、所要延人員九四九〇人と記録にみえてる数字です。二月からは新校舎で授業でした。

砂子田 大沢川原校舎は薄暗かったので、新校舎では気分一新しました。当時の盛中はボロ校舎でしたし何かハ

ナが高いような気がしたものです。面白いことに四面棒グイの柵で、非常な解放感を覚えまして、旧校舎は板塀の囲いでしたから、今度は牢獄ではないゾーと。

戸嶋 今は開放しっぱなしだ。(笑)
砂子田 その頃はあまり外には出なかつたですね。

山中 裏門はしめてましたからね。戸嶋 廊下が広く明るいのが自慢でした。

足沢 講堂なども東北一だと言われ、式と朝礼の時しか使いませんでしたね。司会 新校舎で意気軒昂だったようですね。

砂子田 そう、やはり査閲前の野外教練が忘れられない。佐藤先生の「円ク集レ」は岩中名物でした。小林、佐藤、浅倉先生などにはしぼられました。配属将校がまた農専、工専とかけ持ちの将校で、盛中の教官も頭が上がらない。陸軍省のよこす教官が盛中の教官より格が上だと得意になったものです。(笑)

司会 日華事変も愈々拡大の頃ですね。
土方に明けくれの勤労奉仕

砂子田 そうです。それで勤労奉仕などが多くなりました。後藤野飛行場の建設作業にかり出されたのもその頃です。全くひどいものでした。スコップの利かないところでツルやカツア

ビを振るい、ノーパンクリヤカー(大八)やモッコなどで人海作戦です。

山中 ノルマですね、やらねば帰れなかつた。

戸嶋 十三年には六月と八月に行つてますね、ともに五日間。他校と競争させられるので、先生たちも頑張らねばならなかつた。

砂子田 「岩中よぐ稼ぐナ」などという係の人達の会話を聞いては頑張らざるを得なかつたです。笹間小学校の講堂の板の間に寝ては蚊に悩まされ、食事の副食にはタクアンふた切れといつた有様……、だが病人も出ない、日射病なんかあまりなかつたのは不思議みたいなものでした。

足沢 兄のアルバムをみると、林を切り開いたりしたようですね。

山中 松根油用に松の根なども堀りおこしたんですね。後藤野については石黒知事がハツパをかけたところもありますね。

砂子田 やたら奉仕が多かつたです、盛岡工専の地ならしもやらされました。岩大工学部は我々の手でつくつたみたいなものです。

足沢 わたし達は黒石野の射撃場つくりもやらされました。
戸嶋 種馬所にも行つてる、開墾に

司会 どうやら土方に明け暮れしたみたいですね。
戸嶋 イヤ、雪中行軍、兎狩りなど

楽しい行事もあつた。他校にはなかつたことなのだが……観武ヶ原、バラ島、また妙泉寺、浅岸方面にも行つた。生徒が勢子になって獲物を追うわけだ。

砂子田 その収獲たるやあまりなかつたのだが……その後の豚汁がおいしかったです。

山中 大きな鍋をソリで運んでいて係が汁をつくりましたね。

足沢 兎は撃つばかりでなく、網でとつたこともありませうね。雪中行軍では、スキーある者はスキーをはいてこいでしたね。

山中 スキーをはいた者は八十人もいたろうかね。

砂子田 なかなかスキーなど手に入らない時代でしたからね。

戸嶋 やはり学校では年に一回ぐらいは、一緒に物を食うということも必要ですね。

砂子田 武道は正課で、寒稽古など行事としては欠かせないものだったのですが、終つて鏡開き……皆で一緒に食べる楽しみがありました。

足沢 クロスカントリレースが終ると、いものこ汁が出ましたね。

司会 とところで戸嶋先生の応召はいつころ……。

戸嶋 十四年五月……。

司会 物資欠乏を告げてきたのもその頃ですね。
山中 服は国防色、それも配給制でね。皮靴も出回らなくなり、編上靴又

は下駄履きでもよしとなりましたね。

足沢 わたしら二年生の頃までは編上げをはけといわれました、その後は下駄です。下駄ばきの時でも必ずゲートルは巻けといわれましたね。

戸嶋 川崎動員はいつ頃かな。

足沢 五年になった時の七月十七日。

山中 下級生は久慈に行ったね。

司会 十八回生は久慈鉾山です。

足沢 岩手中学校報国団という名称でしたな。

山中 石桜会を解消して、岩手中学校石桜報国団を編成したんです。鍛錬部とか国防訓練部というのもありました。国防訓練部の中には、国防競技組、射撃組、銃剣術組などというのもありました。

司会 時代を偲ばせる名称ですね。

岩手中学報国隊編成 空襲下の勤労働員

山中 その年には生徒会ばかりでなく、学校の組織まで隊編成になりました。岩手中学校報国隊編成規定などが出来ましてね、勿論上からの命令によつたのですが……。

司会 当時の組織一覧がここにありますが……。報国隊長、学校長佐々木哲郎、大隊長牟岐結雄、第一中隊長山中順三、第二中隊長高橋与平などありますね。

山中 なんのことはない学級担任が中隊長なわけです。

司会 開戦直前の緊迫感が出てますね。ところで長期勤労働員の際卒業式などは……？

足沢 動員先で合同卒業式でした。岩女、岩農、師範などと……。

戸嶋 卒業証書もらったかな？

足沢 ハアどうにか。(笑)

山中 事務の赤石先生が卒業証書を背負って現地までゆかれましたね。

司会 動員先での仕事はどんなことでしたか？

足沢 わたしら日本鑄造に行きました。船の部品や戦車のキヤタピラなどつくりました。今でも電気熔接なら自信があります。

司会 動員先では授業をやりましたか。

足沢 はじめの頃は夕食後寮で二時間ぐらいやりましたが空襲がひどくなつてそれも出来なくなつた。

山中 焼けだされましたからね。

足沢 毎晩空襲なものでゲートルを巻いたまま寝ました。疲れがひどくて「空襲だ」と起こされても起きない、いや起きれなかつたですね。しらみがわいてこれにも悩まされました。家にも帰れず食物はなし、泣きたくなりませんでしたね。昼は重労働、夜は眠れないのですから犠牲者も出ました。

山中 村上昭夫(詩人)なんかも、やはりあそこで体をこわしたんですね。

司会 残留部隊はどうしていたんですか？

山中 農家の手伝いなどに行きました。田植え、そば播き、稲刈りなどにね、沢沢先生でしたか、ひどい待遇に腹を立て喧嘩して帰ってきたというの

は。

司会 沢沢先生は金沢で工場長と喧嘩した話は聞きましたね、命がけなのは軍人ばかりじゃない我々も命がけだと。

砂子田 工場の疎開で校庭に機械が並んでいる光景などありましたね、学校には軍の要請がありませんでしたか。

山中 学校の実験室を貸してくれと軍から言われました、東大の住江博士が学校の実験室を借用ということで、息子さんも岩中転校の手続きまでされたんです、終戦直前の頃のことでしたか……。

砂子田 先生方の年齢は高かったじゃないですか。

山中 若い人なんかいない、若いのは応召か、動員についてゆく。でも小林先生なんかはお年でも動員についてゆかれましたね。手が足りないもんだからラッパさんも作業の指揮をとつて「高橋センセイ」なんていわれてました。

砂子田 ラッパさんといえは時鈴はラッパでしたな。

戸嶋 欠勤すればすぐ分つたな。(笑)

山中 鈴木勝二郎先生がね、職員室でラッパはどこと怒鳴つたんだ、そしたら剽軽な先生が、あそこに懸つて

ますよと言い、イヤ、ラッパさんだと言ひ直して笑いになったこともある。

砂子田 勝二郎先生は絶対に怒らぬ先生でしたな。よくムチを使いました

が、振り下ろしたムチを間一髪のとこ

ろでピタリと止める特技をもつてられました。

司会 当時の先生方の印象をひとつ……。

砂子田 傑物だ。日野、今野などという先生が印象的、型でおしたような先生ではなくて、ひとくせもふたくせもあつた。

戸嶋 気骨あり、ユーモアあり、魂とぶつかるころがあり、何かもつていた、とにかく一人一人カラーをもつていた。

司会 とこで戦時下のスポーツは、ラクビーを闘球などと言ひ、呼称からして窮屈ですね。

足沢 武道の試合は振武大会などと古めかしい。

司会 明治神宮大会出場記録もみえますが……。

戸嶋 武道方面ではよく出場した。今の国体の前身と言つてよいだろうが、厳選され、制限されていたから、参加は今の国体よりもむづかしかった。

足沢 それも十五、六年頃まででしたな。当時全校生が受けたものに体力検定がありました。専売局前から仁沢瀬までの長距離走行、初級上級の別があつて、上級になると土のう運び、手

榴弾投げなどが加えられました。

砂子田 長距離の時、近道を走って叱られるのもしましたナ。

山中 近道をした某君をゴールでなくってしまつてね、彼は工専に入り卒業時には挨拶にも来ましたが……。

部の練習はスバルタ式

上下級生の別敵しく

司会 砂子田さんは弓道部の先輩……

……

砂子田 そうです、優勝旗を放すと言われたのに、とり上げられて帰った時の辛さ、その時の報告会は胸苦しいものでした。部の練習はスバルタ式なぐつてもよしです。安土上げをさぼつてはなぐられるてなこともありました。

山中 戦後弓道場をこわすのにメにありました。的場の土を小笠原先生と二人で運びました。こわしたといえは教練用の銃剣もネ、銃剣は灰皿二十ヶに化けましたが……。

司会 生徒上下の関係はどうでしたか？

砂子田 上級生には必ず敬礼、この習慣は軍隊にいつて物をいいましたね。軍隊につながっていたんです、先生方には停止敬礼。

山中 先生には背後からでも挨拶することになってましたね。

砂子田 今は社長の方からオハヨいですよ。今の生徒はそのクセがない。

司会 風紀については？

砂子田 ズボンのインチ計りがありましたね、ズボンの裾の長さを計り、ラッパズボンの規制です。また、大説教大会がありました。これは公認のものでして、正坐させて、一人一人名を呼び、いわゆる説教をするわけですよ。

山中 そんなことありましたかな。

砂子田 ありました、だから早く五年生になりました。

戸嶋 上級下級の階級別にも、もっちもたれつのが良かったと思う。今の生徒には上下がなくて、中心がない感じだ。

司会 学校の生活規制はどうでしたか？

砂子田 厳しかったですね。映画館には絶対ゆるくな、父兄同伴も駄目、今からみても名画と思われるようなものも見られない。発見されたら処罰ものです。食堂も入つてよいのは「味のデザート」ぐらいのものでした。

足沢 映画といえは学校で映画会をやりましたね、戦記物が多かったですよ。

山中 わたしはそのプロ編成係、今野先生が弁士でした。ある場面で「君が代」を歌ったが、画面が進行しているのに弁士の「君が代」が終らない……（笑）。当時「君が代」を途中でよすわけにゆかなかつたですからね。

足沢 今にないものに「作業」という時間がありましたね、花をつくつたり野菜をつくつたり……。

り野菜をつくつたり……。

山中 そう、その点今は物をつくる楽しみがなくなりましたね。

司会 ところで当時は英語が圧迫された時代のようにですか……。

山中 県立（現二高）などは英語廃止、盛中なども時数を減らしましたね、だが岩中は減らしませんでした。理事長、校長の方針でしたから……。

砂子田 詩吟会なども盛んでしたね。吟唱集なんかもつて全校生が詩吟をやれたんです。

山中 小林、島軒先生などがよくやられましたね。

戸嶋 吟唱集には軍歌、校歌等も載っていた。詩吟の外、弁論大会も盛んなものだった。

司会 名士講演なども……。

戸嶋 多かつたね。米内さん、一燈園の西田天香、裸のおじさんやら魔術使いまで……あれはインチキでしたナ（笑）。

司会 米内さんの英姿は印象的でした。ではこの辺で……。

〔座談会おぼえがき〕

戦時中の部

石桜会は昭和十六年に石桜報國団と改組された。それにともなつて従来の部は「組」となり、さらに「班」となつたが、この呼称はあまり定着しなかつた。当時の部の中にはつぎの例のように、時局を反映したものがあつた。

〔射撃班〕射撃の腕に自信のある面々が参加して一発必中をモットーに訓練を重ね、対外試合にのぞんだ。たとえば昭和十七年度明治神宮予選大会では、参加十八校中九番の成績であつた。

〔銃剣術班〕着剣した銃で敵を刺突する勇壮な武道で、木銃や真銃を使用した。対外試合も活発で、昭和十八年には学徒銃剣道訓練岩手県大会の優勝校となり、東北大会に出場している。

〔滑空班〕若人の空へのあこがれは強かつた。模型航空機大会が盛大に開かれた。しかし、やはり本物の滑空機（グライダー）を使った訓練に魅力があつた。昭和十七年には学校が滑空機を購入し、岩中石桜第一号機と命名した。そのころグライダーを持つている中学はきわめてまれで、これにひかれて入学した者もあつたという。

〔海洋班〕海軍軍人を志す生徒が集い、代表二名が横須賀海兵団で軍事教習を受けた。手旗信号の練習を実施し、高松池でカッター訓練を行ない、また海軍記念日ポーターレースにも出場している。